令和４～６年度

学校教育基本方針

朝 日 町 教 育 委 員 会

学 校 教 育 の 方 針

人権を基底とした教育を志向し、親和性のある人間性豊かな教育をめざす

＜　め　ざ　す　子　ど　も　像　＞

たくましく，伸びゆく朝日の子

◎　いのちの大切さを分かり合う子

◎　みんなと協力して、学び合う子

◎　友達を大事にして、育ち合う子

◎　自分の力を信じて、努力する子

◎　心の優しさをもち続ける子

基本方針の具現化

＜小中学校教育＞

1　知・徳・体のバランスの取れた学校教育の推進

① 基礎・基本となる教科の指導事項を明確にし、分かりやすい授業づくりに努めます。
② 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりに努めます。
③ 学習の定着を高めるため、評価を指導に活かす授業改善を図ります。
④ 自らの興味・関心を大切にし、個性的で発想豊かな取り組みを促すよう指導の改善を図ります。
⑤ 「読む力」「書く力」の習熟に努め、「文を作る力」の向上を図ります。
⑥ 「聴く力」「話す力」などコミュニケーション能力の育成を図ります。
⑦ 数学的思考を高め、推理、検証する力の育成を図ります。
⑧ 社会事象、自然現象に関心をもつ探求心の育成を図ります。
⑨ 創造性を養い、創作、観賞などを通じ美的感覚の育成を図ります。
⑩ 発達に応じた運動と休息のバランスを図り、体力づくりを図ります。
⑪ 保・幼・小学校・中学校との繋がりを大切にし、規律のある生活の育成を図ります。
⑫ 英語に親しみ言語感覚とコミュニケーション能力の素地を養う取り組みを図ります。
⑬ プログラミング教育を推進し、論理的思考力の育成を図ります。

2　人権を尊重し、人として豊かに生きる実践力の育成

① 人権問題についての正しい考え方を学び、偏見を打破する姿勢の育成に努めます。
② 被差別の立場にある人々の『思い』を正しく受け止め、差別を許さない態度の育成に努めます。
③ 道徳の時間の充実を図り、豊かな心情を養い、実践力の育成に努めます。

3　親和性の強い仲間づくり、楽しい学校づくりの育成

① いじめのない、まとまりのある学級づくり・学年づくり・学校づくりを目指します。
② 奉仕の精神を高め、生活の場である学校・地域の美化に努めます。
③ 子ども相互のかかわりを深め、共に学び合う力の育成に努めます。

4　健康な心と体の育成と安全を守る環境づくりの推進

① 子どもの命を守るため、学校における防災教育の推進を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となり、安全対策の連携と措置対応の迅速化を図ります。
② 子どもの健康を守るため、正しい生活リズムの育成と食育を通して家庭と学校が連携し、習慣化を図ります。
③ 体育科、保健体育科の授業の工夫と体育行事、運動部活動の充実を図り体力の向上に努めます。

5　特別支援教育体制の充実

① 一人ひとりの日常行動や学習の習熟度に応じた指導を図り、自立に向けた意欲を高めます。
② 特別支援教育の意義を広く啓発し、支援体制づくりを図ります。
③ 支援を必要とする子どもとの交流を通じ、互いが理解を深め共生社会の実現に向けた行動力を育成します。

6　教育相談体制の確立

① 家庭、学校、関係機関の連携を図り、不登校、いじめ等の予防と早期対応に努めます。
② スクールカウンセラー・心の教室相談員の有効活用を推進します。

7　人権・平和への願いの育成

① 人権を守り、平和な社会の実現に貢献する実践力を育成します。
② 原爆被災国としての惨禍を受け止め、平和の大切さ、平和への願いをより強くもつ態度を育成します。

8　日本の文化や伝統を尊重する態度の育成

① 日本古来の文化・伝統、郷土の歴史への理解を深める態度の育成を図ります。
② 郷土の先人が残した業績を知り、受け継ぐ態度の育成を図ります。

9　ＩＣＴを活用した学習指導の充実

① ＩＣＴを効果的に活用し、学習に対する児童生徒の興味関心を高めます。
② 活用場面やタイミングを工夫し、学力向上に努めます。

10　読書指導時間の確保

① 子どもたちの、思考力や創造力・判断力・表現力を豊かに育むことに努めます。
② 短時間読書、家庭読書の時間を設け、読書の習慣化に努めます。

11　総合的な学習の展開

① 「総合的な学習の時間」の展開を推進し、幅広い学習体験で自己実現が図られるよう努めます。
② 総合的な学習の時間の計画的実践により、学習への主体的な取り組みの実現を図ります。

12　保・幼・小・中の連携と豊かな学びの展開

① あさひ園・小学校・中学校の繋がりを深め、『朝日の子』の成長を大事にします。
② 家庭・地域・関係機関等との連携を図ります。
③ 小１プロブレム・中１ギャップへの対応を図ります。

基本方針の具現化

＜就学前教育＞

1　明るく楽しい園づくりをめざし、生きる力の育成

① 幼児期にふさわしい遊びや生活ができる環境整備を図ります。
② 小学校・中学校とのつながりを深め、朝日の子を育むための幼・保園教育の実践に努めます。

2　個に応じた指導の推進

① 一人ひとりの発達や生活環境を把握し、個々の特性に応じた指導法を工夫します。
② 意欲、集中力、持続力などの生活習慣の基礎となる力の育成を図ります。

3　自発的な活動の促進

① 周囲の様々な環境を活用し、見たり、触れたり、試したりする体験を通し、好奇心、探求心を育成します。
② 幼児自らが遊びをつくり出し、発展させていく力を育てます。

4　友達とふれあい、親和性の強い仲間づくりの推進

① さまざまな体験を通して、身近にある問題をみんなで解決していこうとする態度を育てます。
② 喜びや悲しみを受け止め合う活動を通して、共感する態度の育成を図ります。

5　道徳性の芽生えを培う教育の定着

① 基本的な生活習慣の形成を家庭の躾と連携し推進します。
② 身近な動植物に親しみをもち、いたわったり、大切にしたりする体験を通して、命を大切にする心情や態度を育てます。

6　健康な心と体の育成

① 家庭・園の支援により自ら健康で安全な生活をつくり出す生きる力を養います。
② 自分の力に応じ、全身を動かす体験を通して、楽しい園生活の実現に努めます。

7　小学校や中学校の児童・生徒との交流など、ふれあいを深める

① 体験学習などにより、親近感を持ち、新しい発見に触れるように配慮します。

8　開かれた特色ある園づくりの推進

① 幼児同志の交流や高齢者、支援を必要とする人との交流を行うことで相手への理解を深める心情や態度を養います。
② 地域の人々を幼稚園に招き、お話、昔の遊び、読み聞かせなどの活動を通じて心の交流を図ります。
③ 自分達の成長ぶりを家族や地域の方々に観てもらう運動会、生活発表会を計画します。

9　学習習慣の基礎となる力の育成

① ５歳児は、年長としての自覚が芽生え、数や文字に興味を示し始めるため、遊びの中で使用できるよう図ります。
② 幼稚園・保育園との学びの共通化を図るため、学習プログラムを作成し、発達の保障を図ります。
③ 外国の異文化を知ることの手掛かりの一つとして、「英語で話そう」を設定し、ＡＬＴと楽しく過ごす時間の確保を図ります。

10　就学前教育を保障する幼・保一体化による運営

① カリキュラムの調整を行い、指導内容の適性化、共通化を図り更なる就学前教育の充実に努めます。
② 年間を通じ、園児の交流の場を設定し、コミュニケーションを深めます。

基本方針の具現化

＜学校体制と教職員の資質の向上＞

1　使命感の確立

① 公教育に携わる者として、確固たる教育信念をもち、その職責を自覚し、愛情と責任をもって公平な指導にあたり、幼児・児童・生徒からの信頼を受けるよう努めます。
② 子どもの生命が守られ、保護者が安心して通園・通学させることができる、信頼がおける学校・園づくりを進めます。
③ 全ての教職員が、様々な人権問題への正しい理解と認識を深め、人権尊重に徹する信念と情熱をもって、人権・同和教育推進に取り組みます。

2　学校経営の充実

① 園・学校長を中心に園・校内の研修体制を確立し、創意ある園・学校の経営に努めます。
② 全ての教職員が共通理解のもと、園・学校の教育目標の達成を目指した具体的な課題を適切に設定し、教育実践に結び付く組織的・計画的な運営の推進を図ります。
③ カリキュラムマネジメントにより、学校経営の改善に努めます。
④ ＩＣＴを適切、効果的に活用し、児童生徒の学習理解を深めるよう努めます。
⑤ 授業時数の確保に努め、各教科・領域との関連性を考えた教育課程を編成します。

3　授業研修と指導力の向上

① 教職員一人ひとりが専門職としての自覚をもち、自己研鑽に励み、指導方法の創意工夫に努めます。
② 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善に努め、指導力を高める研修に努めます。
③ 広く保護者や地域の方に授業を公開し、学校についての理解を深める取り組みを進めます。
④ 教師全員が、年１回以上授業を公開し、授業の改善を進めます。
⑤ 学習の評価が、子どもの学習の促進や教師の指導の改善に生かされるよう、指導と評価の一体化を図ります。
⑥ 幼児、児童、生徒の発想を大事にした主体的・対話的で深い学びを通し、創造力を高める授業に取り組みます。
⑦ 授業に集中力をもたせ、授業への追求心を高める指導法を工夫します。
⑧ 親和性の強い学級づくり、学校づくりを目指します。
⑨ 幼児・児童・生徒や保護者との信頼関係に結ばれた実践的な指導に励みます。
⑩ 教職員のコンプライアンスを確立するとともに、教職員間の親和性を大切にし、豊かな人間性によって結ばれた職場づくりに努めます。